

<千葉北総病院 第7回クリニカルパス大会開催について>

日本医科大学千葉北総病院
クリニカルパス推進委員会
委員長 宮下 正夫
副委員長 増渕 美恵子

去る平成28年3月11日（金）午後5時半より、千葉北総病院におけるクリニカルパスの作成と推進を図るため「第7回院内クリニカルパス大会」が開催された。

今年のパス大会の参加者人数は、合計で80名（医師15名、看護師43名、事務系17名、コメディカル5名）であった。

今年は、「患者の立場でクリニカルパスを考える」をテーマとし、看護部の増渕 美恵子部長、医療情報室の佐藤 文隆副室長、薬剤部の山崎 恵子委員による、実際に職員が体験したパス適応による入院、パス適応ではない入院事例をもとに発表された。



各発表では、入院期間が明確であること、治療や手術のタイミングなど毎日の予定が分かるなどパスを受けて良かったこと。治療途中や退院前、退院してからの生活に対する不安、女性視点では退院後の体力がまだ完全に戻っていない状態での家事の不便さについてなどの発表がされた。

また、アンケートを実施し、参加者より「パスを作成する上で配慮する点などが見えてきた」「体験されたパス経過及びパス適応以外の意見をきき、ケア実践に生かせればと思った」「入院してきた不安、退院後の不安など知ることができたので、生かしていきたいと思った」などパスの取り組みに限らず、患者さんの様々なケアについても今後、改善に役立つ非常に重要な発表であった。

最後に今年度の MVP 表彰は、順調に適用数を伸ばしパス推進に貢献頂いた「眼科 白内障パスチーム」へ授与。これに続く「形成外科 局所麻酔手術パスチーム」へ準 MVP 賞を授与。また、パス改善のために変更修正に多大なる尽力を頂いた「看護部チーム」とパスに組み込まれている薬剤の先発医薬品から後発医薬品への切り替え等に多大なる尽力を頂いた「薬剤部チーム」へ特別功労賞として表彰を行った。

(文責：クリニカルパス推進委員会 飯尾 麻奈美)